

平成21年度（2009年度）

市民意識調査報告書

・ ー ・ ー は じ め に ー ・ ー ・

100年に1度といわれる不況の中、南丹市をはじめ多くの自治体が深刻な財政状況下に置かれています。その中にあるのは、行政サービスの見直しも必然的なものとなっています。

しかし、一方では総合振興計画に基づくまちづくりを、積極的に進めなければならないという実態もあります。

今後、サービスをより良い方向に改善するため、今実施している行政サービスが市民ニーズとかけ離れていないかを知る必要があります。

南丹市では、平成20年度より「市民意識調査」を実施し、市民の方々がまちづくりに対しどのような実感を持たれているのかを把握することとしました。

本報告書では、意識調査の集計を基に分析を行い、市の置かれている状況や課題等を整理しました。今後のまちづくりの資料として大いに活用していきたいと考えます。

最後に、本調査にご協力いただいた市民の皆様に改めて御礼申し上げます。

平成21年10月

南丹市長 佐々木 稔 納

目 次

はじめに	1
目次	3
調査概要	5
集計結果	13
(1) 住みやすいと感じている市民の割合	14
(2) 魅力あるまちだと感じている市民の割合	15
(3) 運動をした市民の割合	15
(4) 安心して医療を受けられる体制だと感じる市民の割合	16
(5) 高齢者が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合	17
(6) 障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合	17
(7) 安心して子育てできると感じている市民の割合	18
(8) 地域で子育てができていると感じている市民の割合	19
(9) 商店（商店街）はにぎわっていると感じる市民の割合	19
(10) 南丹市で生産された産品を意識して購入された市民の割合	20
(11) 自然や景観が適切に守られていると感じる市民の割合	21
(12) 水道水はおいしいと感じている市民の割合	21
(13) 都市部との情報格差は是正されていると感じる市民の割合	22
(14) 災害や防犯に関する情報が、的確に提供されていると感じる市民の割合	22
(15) 避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている市民の割合	23
(16) 防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	23
(17) 差別事象は減っていると感じる市民の割合	24
(18) 人権に関する学習の取り組みをした市民の割合	25
(19) 住んでいる地域には活力があると感じる市民の割合	25
(20) 地域活動や市民の自主的な活動に参加した市民の割合	26
(21) 風俗や伝統などは引き継いでいかなければならないと感じている市民の割合	27
(22) 大学などとの交流・連携が盛んに行われていると感じる市民の割合	27
(23) 公共施設（公民館や体育館など）を利用した市民の割合	28
(24) 税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている市民の割合	29
(25) 南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じる市民の割合	29
市民からの意見	31
1. 市民の困りごと・心配ごと	
2. まちづくりに対する意見・提案	

・ ・ ・ 調 査 概 要 ・ ・ ・

1. 調査名 南丹市市民意識調査
2. 調査対象 南丹市市政モニター登録者 70 名と市民の中から無作為に抽出した 1,400 名
3. 調査方法 調査用紙の郵送法
4. 調査実施期間 平成 21 年（2009 年）7 月 15 日～30 日
5. 調査時点 調査用紙に記入された時点
6. 回収結果 595 名（回収率 40.5%） 〈前年度比〉 +7 ポイント
7. 調査項目

南丹市全般について、医療・福祉、子育て、商業や生活環境、防災や防犯、社会問題、地域活動、公共施設や行政サービスなど、8 つの分野 25 項目について調査をしました。

まず、アンケートの冒頭で、南丹市の「住みやすさ」と「魅力」という大きなテーマについてご意見を聞きました。「住みやすさ」や「魅力」というものは、様々な要因が重なって感じられるものだと考えられますが、まずは市民の皆さんが、直感的にどう感じておられるかを知ることが重要です。

その上で、各々の設問を分析すれば、「住みやすさ」や「魅力」のある・なしの原因を探ることができると考えられます。

分 野	質 問 項 目
全 般	住みやすいと感じている市民の割合
	魅力あるまちだと感じている市民の割合
医 療 ・ 福 祉	過去 1 年間に運動をした市民の割合
	安心して医療を受けられる体制だと感じる市民の割合
	高齢者が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合
	障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合
子 育 て	安心して子育てできると感じている市民の割合
	地域で子育てができていると感じている市民の割合
商 業 ・ 生活環境	南丹市内の商店（商店街）はにぎわっていると感じる市民の割合
	南丹市で生産された野菜などの産品を、意識して購入された市民の割合
	南丹市の自然や景観が適切に守られていると感じる市民の割合
	水道水はおいしいと感じている市民の割合
防 災 ・ 防 犯	災害や防犯に関する情報が、市からの確に提供されていると感じる市民の割合
	台風や地震などの災害に備え、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている市民の割合
	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合
社会問題	性別や年齢、国籍などによる差別事象は減っていると感じる市民の割合
	過去 1 年間に、人権に関する学習の取り組みをした市民の割合
地域活動	住んでいる地域には活力があると感じる市民の割合
	地域活動や市民の自主的な活動に参加した市民の割合

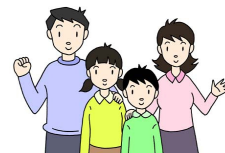
分野	質問項目
地域活動	地域で培われてきた風俗や伝統などは、自分たちが引き継いでいかなければならないと感じている市民の割合
	様々な分野において、大学などとの交流・連携が盛んに行われていると感じる市民の割合
行政サービス	過去1年間に市の公共施設（公民館や体育館など）を利用した市民の割合
	税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている市民の割合
	南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じる市民の割合

各質問をお読みいただき、ご自身の率直なお気持ちやお考えに最も近い答えをひとつ選び、番号に○印をつけてください。
また、よろしければ.....に、答えを選んだ理由やご意見をお書きください。

まず、あなたご自身についてお教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	
住所	1. 園部町	2. 八木町	3. 日吉町	4. 美山町
職業	1. 自営業・事業主・農業	2. 勤め人	3. 学生	4. 家事等
	5. パート等	6. 無職	7. その他()	

南丹市全般についてお聞きします。



問1 あなたは、南丹市が住みやすいまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問2 あなたは、南丹市が魅力あるまちだと感じられますか。

1. 感じる
2. 多少感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

医療・福祉についてお聞きします。



問3 あなたは過去1年間に、健康や楽しみのために運動をされましたか。

1. ほぼ毎日した
2. 週に数回程度した
3. 月に数回程度した
4. 年間で数回程度した
5. しなかった／できなかった

問4

あなたは南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問5

あなたは、南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問6

あなたは、南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

子育てについてお聞きします。



問7

あなたは、南丹市が安心して子育てのできるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問8

あなたは、ご自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組み作りができていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

商業や生活環境についてお聞きします。



問 9 あなたは、南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると思われませんか。

1. そう思う -----
2. どちらかといえばそう思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそう思わない -----
5. そう思わない -----

問 10 あなたは、南丹市で生産された野菜などの産品を意識して購入されていますか。

1. そうしている -----
2. どちらかといえばそうしている -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそうしていない -----
5. そうしていない -----

問 11 あなたは南丹市において、自然や景観が適切に守られていると思われませんか。

1. そう思う -----
2. どちらかといえばそう思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそう思わない -----
5. そう思わない -----

問 12 あなたは、南丹市の水道水はおいしいと思われませんか。

1. そう思う -----
2. どちらかといえばそう思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそう思わない -----
5. そう思わない -----

問 13 南丹市では平成 20 年に CATV 網が整備されましたが、あなたは、この CATV 網の整備によって、京都市などの大都市との情報格差は小さくなったと思われませんか。

1. そう思う -----
2. どちらかといえばそう思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそう思わない -----
5. そう思わない -----

防災や防犯についてお聞きします。



問 14

あなたは、災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われませんか。

1. そう思う -----
2. どちらかといえばそう思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそう思わない -----
5. そう思わない -----

問 15

あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

1. つねに避難できるよう準備している -----
2. ある程度準備している -----
3. 意識はしているが、準備はしていない -----
4. まったく準備していない -----

問 16

あなたは、南丹市が防災の面で安心して暮らせるまちだと思われませんか。

1. そう思う -----
2. どちらかといえばそう思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそう思わない -----
5. そう思わない -----

社会問題についてお聞きします。



問 17

世の中には、まだまだ性別や国籍、身体的障害等による差別が残っていますが、あなたは近年南丹市において、これら差別が減ってきているとお感じですか。

1. 減ってきていると感じる -----
2. 多少減ってきていると感じる -----
3. どちらともいえない -----
4. あまり減ってきているとは思えない -----
5. 減ってきてはいない -----

問 18

あなたは過去 1 年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

1. 何度も参加したことがある -----
2. 一度は参加したことがある -----
3. 参加したかったができなかった -----
4. 参加していない -----

地域活動についてお聞きします。



問 19 あなたは、ご自分の住んでいる地域に活力があると思われませんか

1. 大きな活力がある -----
2. 多少の活力がある -----
3. どちらとも言えない -----
4. あまり活力はない -----
5. 全く活力はない -----

問 20 あなたは過去 1 年間で、地域における様々な活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

1. ほとんど参加した -----
2. ときどき参加した -----
3. 参加したかったができなかった -----
4. 参加していない -----

問 21 あなたは、地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分達が引き継いでいかなければならないと思われませんか。

1. そう思う -----
2. どちらかといえばそう思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえばそう思わない -----
5. そう思わない -----

問 22 あなたは、ご自分の住んでいる地域において、大学などと、様々な分野の交流・連携が活発に行われていると思われませんか。

1. 活発に行われている -----
2. ある程度行われている -----
3. どちらともいえない -----
4. あまり行われていない -----
5. 全く行われていない -----

施設や行政サービスについてお聞きします。



問 23 あなたは過去 1 年間に、市の公共施設（公民館や体育館など）を利用されたことがありますか。

1. 何度も利用したことがある -----
2. ときどき利用したことがある -----
3. 利用したかったが利用する機会がなかった -----
4. 使用したことがない -----

問 24 あなたは、市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われませんか。

1. 効果的に活用されていると思う -----
2. どちらかといえば効果的に活用されていると思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえば効果的に活用されているとは思
われない -----
5. 効果的に利用されているとは思わない -----

問 25 あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足していらっしゃいますか。

1. 満足している -----
2. どちらかといえば満足している -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえば満足していない -----
5. 満足していない -----

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。どのような点が不満足ですか。具体的にお教えてください。

日常生活の中で、今困っていることや、心配していることがあればお聞かせください。

南丹市のまちづくりに対するご提案や、ご意見をお聞かせください。

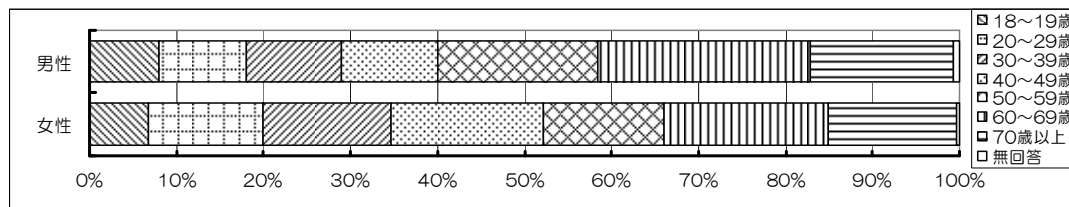
**アンケートは以上です。
お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。**

「集計結果」

回答集計から・・・

今回実施した意識調査の回答率は、前回（33.5％）に比べ+7 ポイント増加し、40.5％となりました。一般的な統計の平均回答率が30％前後であることを考えると、多くの方が、南丹市の取り組みに関心を持っておられると考えられます。

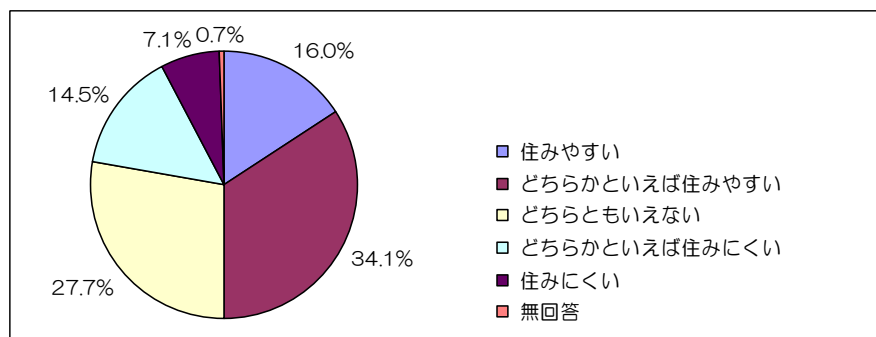
まず、回答者について、男女別の年代別に分析してみると、女性は、10歳代を除いてほぼ同じ割合の方から回答が寄せられたのに対し、男性は、50歳台以上の方の割合が高いという結果になりました。



1 南丹市は住みやすいまちだと思うか？

50%の市民が住みやすいと実感！

「南丹市が住みやすいまちと思うか」という質問に対して、50%の市民の方が「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えています。



「住みやすい」と答えた方（「どちらかといえば住みやすい」を含む）の割合は、昨年度調査（59.5％）に比べると9.5ポイント下がっていますが、今回の調査では、選択肢の1つに「どちらともいえない」という項目を追加したことを勘案すると、この差は仕方がないものではないかと判断できます。

むしろ、「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と答えた方が前年度調査（36.8％）よりも15.2ポイント下がっていることを考えると、住んでいる市民の方にとってみれば、南丹市は「比較的住みやすいまち」と判断することができます。

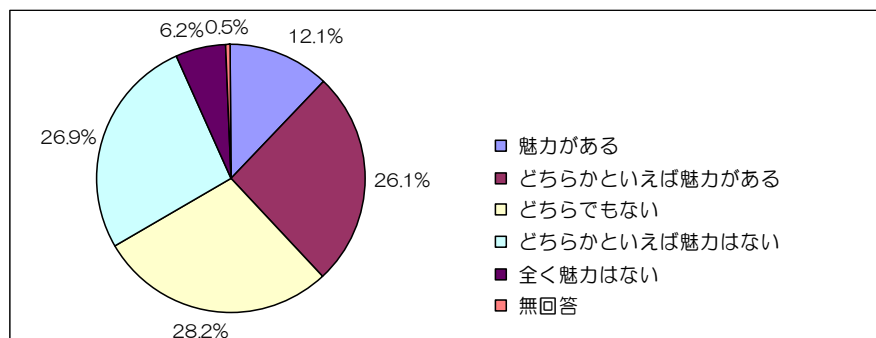
しかし、年代別に分析した場合、多くの年代において50%以上の方が「住みやすい」（「どちらかといえば住みやすい」を含む）と感じているのに対し、10歳代や20歳代、60歳代については、その割合が50%を下回っており、特に20歳代では40%を下回っています。

20歳代や60歳代が「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」を含む）とする理由としては、「交通の便が悪い」「通学・買い物の便が悪い」「店がない」「駅周辺に何も無い」などが挙げられています。特に公共交通の不便さを指摘する意見は多く、「住みにくい」とする大きな原因の1つではないかと考えられます。

2 南丹市は魅力的なまちだと感じるか？

魅力については意見が割れる!?

「南丹市が魅力あるまちだと感じるか」という問いに対して、「魅力がある」または「どちらかといえば魅力がある」と答えた方が 38.2%、「全く感じない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方が 33.1%と、若干の差はあるものの意見は二つに分かれた結果となりました。



魅力のある理由として、「自然が豊かだから」と考える人がある反面、「自然は多いが他にこれといった魅力はない」という意見のように、見方が異なることにより結果がわかれたのではないかと考えられます。

また同じ理由で「どちらともいえない」という回答を選んだ方 3分の1 ありました。

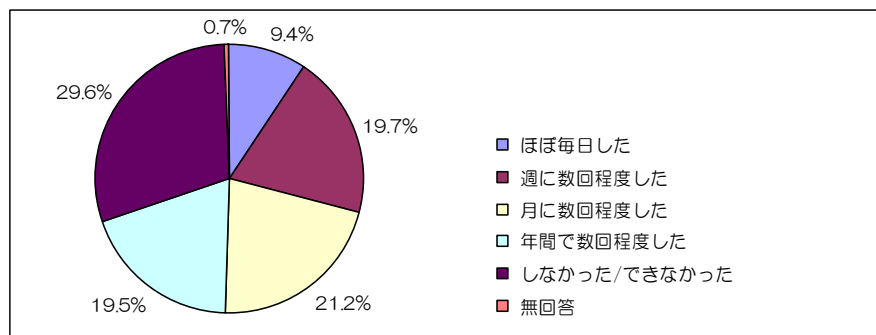
なお、この傾向は年代別に分析してみても同じような傾向があらわれています。

今後は、「自然を」南丹市の魅力とするのかも含め、市としての魅力を明確にし、市内外にアピールすることが重要であると考えられます。

3 過去 1 年間に健康や楽しみを目的とした運動をしたか？

7 割が運動を実施！

「過去 1 年間に、健康や楽しみのため運動をしたか」という問いに対して、「運動をした」と答えた方は 69.8%に達しており、市民の約 3 人に 2 人は健康や楽しみのために、何らかの運動をされていることとなります。



運動の種類としては、ウォーキングをしていると答えた方が最も多く、幅広い年齢層で、日々の運動として実施されているようです。

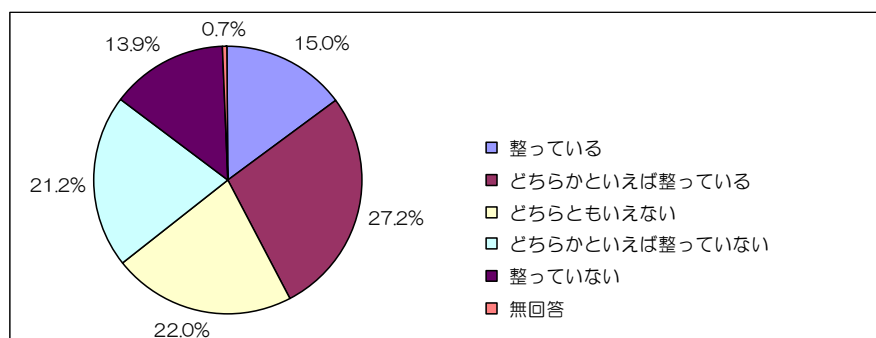
また、高齢の方では、グランドゴルフやゲートボールと答えた方も多くなっています。

4 安心して医療を受けられる体制が整っているか？

不安を感じる人が急増!?

「南丹市において、安心して医療を受けられる体制が整っているか」という問に対して、42.2%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えています。

昨年度の意識調査では、「整っている」「どちらかといえば整っている」を含むと答えた人は63.2%あり、20ポイント以上減ったこととなります。



今回は、「どちらともいえない」という中間的な回答項目を設けたことにより、「整っている」(「どちらかといえば整っている」を含む)と答えた人の割合が減ったとも考えられますが、「整っていない」または「どちらかといえば整っていない」と答えた人は、前回と同様に35%の割合があることから、「整っていない」(「どちらかといえば整っていない」を含む)と感じる人の割合が増えているのではないかと想像できます。

理由としては、意識調査直前に、南丹病院の産科医師が産休に入られたことで、医師の数が減ったという報道があり、不安を持った方があってのではないかと考えられます。

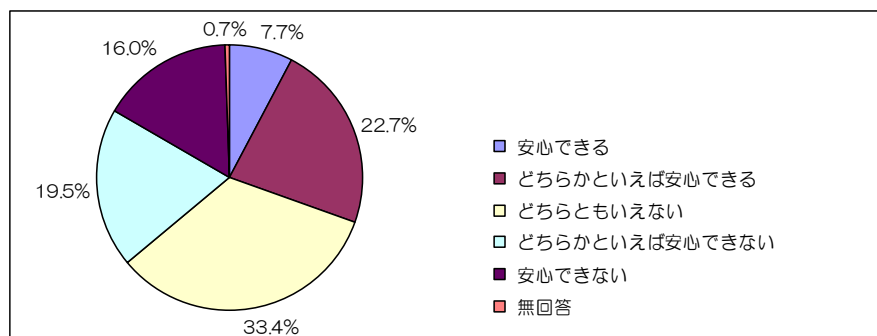
年代別で分析した場合、「整っている」(「どちらかといえば整っている」を含む)と答えた人の割合が、20歳代から50歳までは25%から35%であるのに対し、60歳代以上では50%を越えています。

60歳以上の方の多くは、「診療所があるから」「南丹病院があるから」という理由で「整っている」とされており、診療所や病院があること自体が、安心を与えているのではないかと考えられます。

5 高齢者にとって安心して暮らせるまちか？

生活を支える交通は大切！

「南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちか」という問に対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方は 30.4%なのに対し、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方も 35.5%とあまり大きな差はなく、意見が分かれているところです。



しかし、安心できない（「どちらかといえば安心できない」を含む）と回答された方はもちろん、安心できる（「どちらかといえば安心できる」を含む）と答えられた中にも、交通の便の悪さを指摘する意見が数多くあることから、高齢者にとって生活の足を確保する事が大切だと考える人の多いことが伺えます。

年代別で分析した場合、70歳以上を除く年代において、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えられている割合は30%に達しておらず、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えられた割合よりも少ないのに対し、高齢者世代ともいえる70歳代の人については、50%強の方が「安心できる」（「どちらかといえば安心できる」を含む）と答えられています。

回答を選択した理由からはその原因がつかめませんでしたが、実態よりも不安視する方のほうが多く、実際に高齢になってみると、さほど不安を感じておられないのではないかと想像することができます。

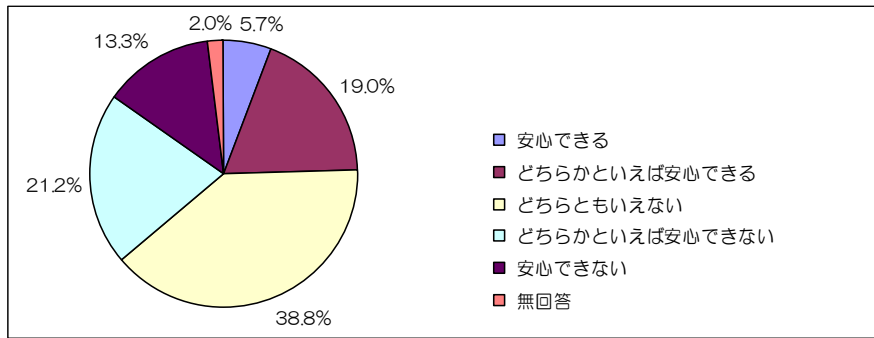
6 障がいのある方にとって安心して暮らせるまちか？

施設のバリアフリー化がポイント！

「南丹市が障害のある方にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方が 24.7%なのに対し、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方は 34.5%と、10ポイント近く多い状態となっています。

安心して暮らせないと感じる理由として、駅などバリアフリーになっていない施設が多いという意見が多く寄せられており、公共施設のバリアフリー化を進めることが安心して暮らせる1つのポイントではないかと考えられます。

ただし、3分の1以上の方が、どちらともいえないと答えています



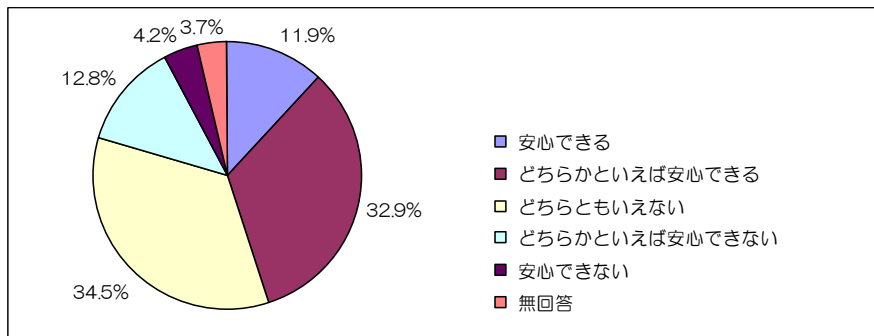
「どちらともいえない」と回答された方の多くが「わからない」「市の施策が市民に伝わっていない」と答えていることから、市民に対して市の取り組みがアピールできていない事が伺え、今後、どのように伝えていくのかが重要ではないかと考えられます。

7 安心して子育てのできるまちか？

どちらかといえば安心して子育てができるまち！

「南丹市が、安心して子育てのできるまちか」という問に対して、44.8%の方が「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えています。

安心できる理由としては、「市の助成制度がある」「自然の体験ができる」という意見が多くありました。



しかし、「どちらともいえない」という回答も34.5%ありました。

その理由として、「子育てに対する市の援助はあるが、削減された」という意見が多く、支援策が打たれているものの、医療費の自己負担増や祝い金支給額の削減といったことが、尾を引いているのかもしれません。

年代別に分析した場合、小学生や中学生を育てられていると考えられる30歳代や40歳代で、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えている割合が高くなっています。

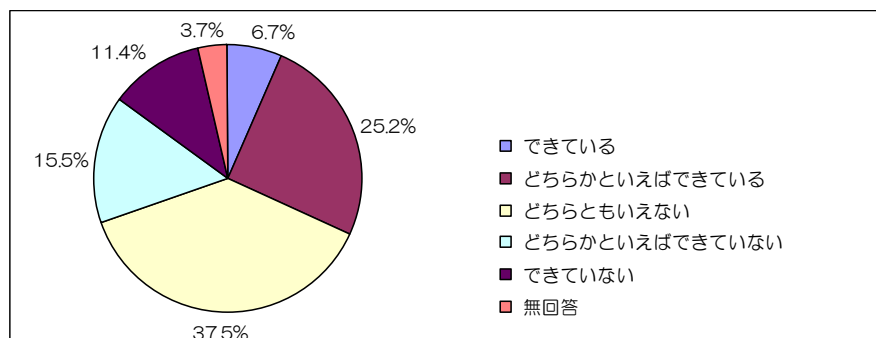
この年代の方になると、満足とまではいかないが、安心して子育てができると感じられているのではないかと考えられます。

なお、金銭的な支援とは別に、保育所のサービスや子育てに対するサポート、また通学路などの環境整備を求める声が多くあるのも実態です。

8 地域全体で子育てを支援する仕組み作りができていますか？

市民に施策が伝わっていない!?

「お住まいの地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みが整っているか」という問では、「できていない」または「どちらかといえばできていない」と答えた方の割合が26.9%という状況に対し、「できている」または「どちらかといえばできている」と答えた方の割合が31.9%となっています。



今回の調査では、「どちらともいえない」という中間的な回答項目を設けたことで、昨年度の調査結果と単純に比較することはできませんが、「できている」または「どちらかといえばできている」と答えた方の割合は、前回の65.6%から半減しているのに対し、「できていない」または「どちらかといえばできていない」と答えた方は前回の30.0%からほとんど変化していない状態です。

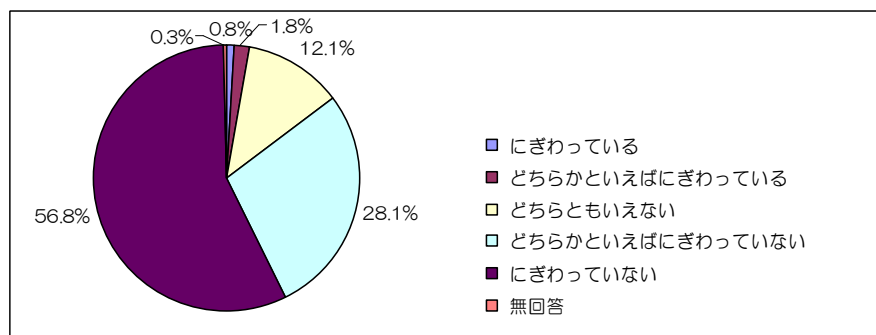
また、「どちらともいえない」の回答割合が3分の1以上を占めている状態です。

その理由が、「地域で子育てを支援する仕組みを知らない」「分からない」という意見が大半であることから、市が実施している「地域子育てサポート制度」などの取り組みが、市民の方に十分伝わっていないのではないか、実感していただけていないのではないかと考えられます。

9 南丹市の商店街(商業)はにぎわっているか？

商店街にはにぎわいが感じられない！

「南丹市の商店街(商業)がにぎわっていると感じるか」という問では、56.8%の方が「にぎわっていない」と回答されており、「どちらかというのにぎわっていない」を含めると、84.9%にもなり



ます。

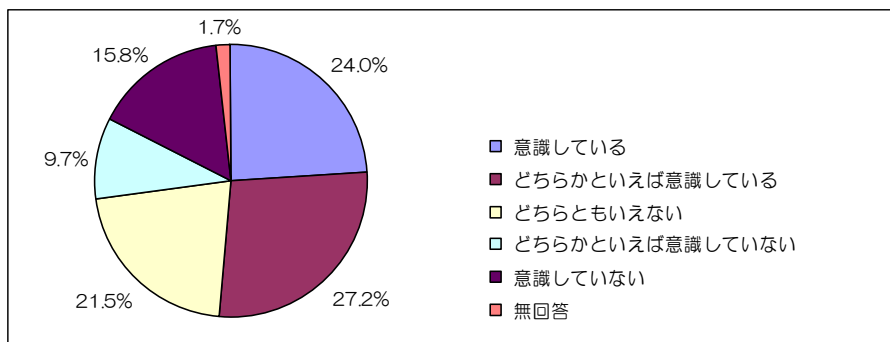
逆に「にぎわっている」または「どちらかといえばにぎわっている」と答えた人は、わずかに2.6%にとどまっているという状態です。

前回の調査と比較すると、回答項目に「どちらともいえない」という回答を設けたため単純に比較することはできませんが、「にぎわっている」または「どちらかといえばにぎわっている」と答えた方は、前回の5.5%から2.6%へと半減している状態であり、市の大きな課題の1つと考えられます。

10 南丹市で生産された産品を意識して購入されているか？

意識して購入される方は多い！

「南丹市で生産された野菜などの産品を意識して購入されているか」という問に対し、24.0%の方が「意識して購入している」と回答されており、「どちらかといえば意識して購入している」を含めると53.2%となり、割合からすると、市民の二人に1人が「地産地消で安心して食べられる」「新鮮だから」といった理由で、地元で生産された野菜などを購入されていることとなります。



ただし、市内には、農家の方や自家栽培をされている方も多いようで、「家で作っている」という意見が多くありました。

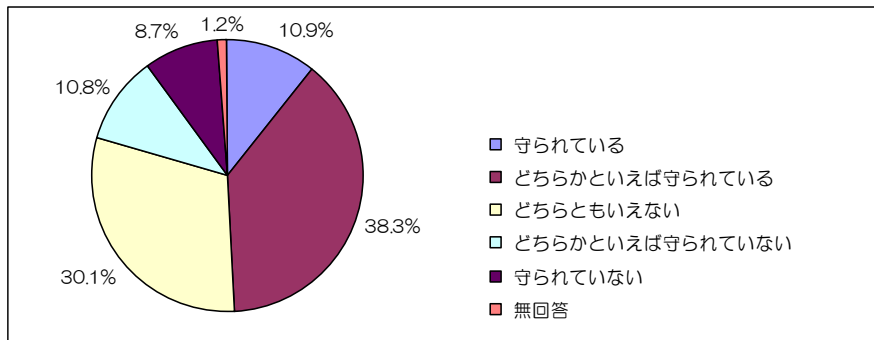
年代別に分析してみると、意識して購入するという傾向は、年代が高くなるほど意識して購入されているという傾向は強くなり、20歳代では僅か30%強であるのに対し、70歳以上では70%を越えています。

しかし、回答の意見から、購入されている場所の多くが朝市や無人販売であることから、市の商業振興に活かされていない実態が見えてきます。

11 自然や景観が守られていると思うか？

南丹市の自然は守られている！

「南丹市において、自然や景観が適切に守られているか」という問では、「守られている」または「どちらかといえば守られている」と回答された方は49.2%で、「守られていない」「どちらかといえばまもられていない」と回答した方の19.5%を大きく上回っています。



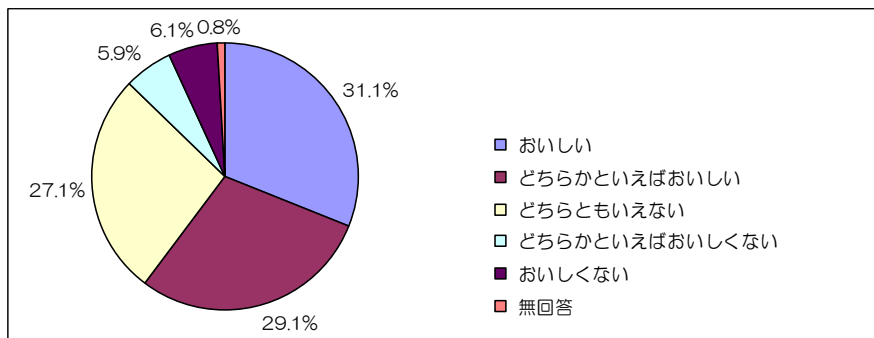
年代的に分析しても、特に認められる事象はありませんでしたが、園部地域や八木地域の方から、「美山地域や日吉地域では、自然や景観の保全に努力させているが、園部地域や八木地域では山を削ったり、古くからの景観を壊すなど、守るという意識が少ないのではないか。」という意見がありました。

12 南丹市の水道水はおいしいと思うか？

南丹市の水道水はおいしい！

「南丹市の水道水はおいしいか」という問に対して、31.1%の方が「おいしい」と答えられており、「どちらかといえばおいしい」という回答も含めると60.2%になります。

逆に「おいしくない」または「どちらかといえばおいしくない」と答えた方は、わずか12%であり、市民の約3人に2人は南丹市の水道水はおいしいと感じておられるという結果になりました。



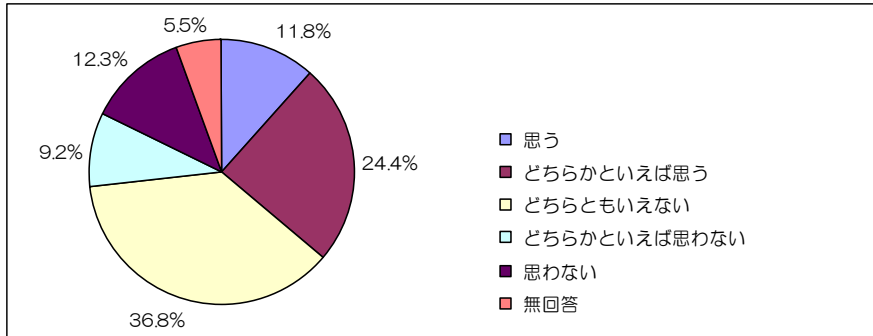
意見からみると、「大阪の水は苦い」「都市部とは全然ちがう」など、都市部と比較して判断されているケースが多く見られました。

13 CATVの整備で、都市部との情報格差は小さくなったか？

あまり変わらない!?

「CATV網の整備により、都市部との情報格差は小さくなったと思うか」という問には、36.2%の方が「小さくなった」または「どちらかといえばちいさくなった」と答えています。

ただし、36.8%の方が「どちらともいえない」という回答をされています。



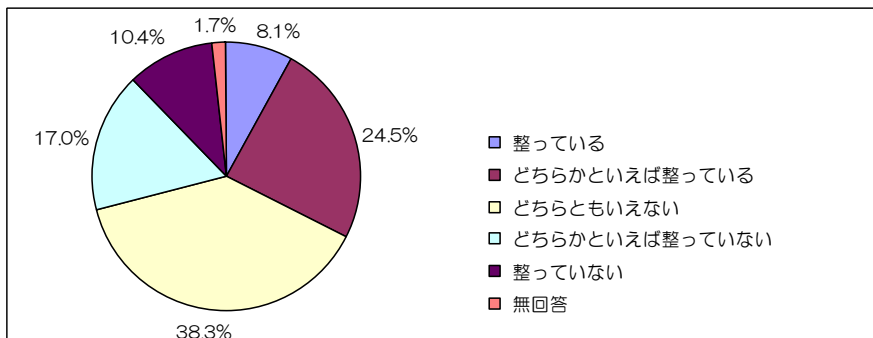
「小さくなった」または「どちらかといえばちいさくなった」と答えている方の理由をみると、「CATVの番組は面白い」「インターネットが利用できることは大きい」などの意見がある反面、「どんな情報も京都市内とかわらない」や「個人がプロバイダーを選べたら」という意見がありました。

「どちらともいえない」や「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は、「わからない」「情報格差が無いのはCATVによるものとは思わない」「情報は増えていない」という思いを持っておられるようです。

14 災害情報が、的確に発信される体制か？

防災無線が整った！でも運用は!?

「災害に関する情報について、市からの的確に発信される体制が整備されているか」という問では、32.6%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えています。



しかし、「どちらともいえない」とする意見が38.3%と最も多く、「整っていない」（「どちらかといえば整っていない」を含む）と答えた方も27.4%あります。

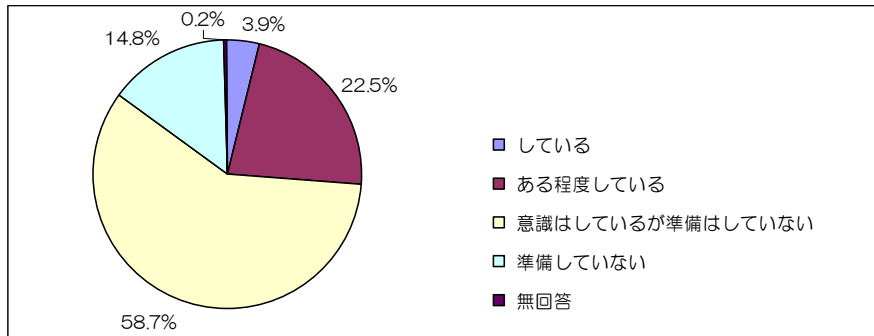
「整っている」（「どちらかといえば整っている」を含む）と答えた方の多くは「防災無線の整備」をその理由として挙げていますが、「どちらともいえない」と回答された方からは「実際に大災害が起こっていないから」「災害に遭遇していないから」という意見を出されています。

また、「整っていない」（「どちらかといえば整っていない」を含む）と答えた方からは、「市からこういう情報が入るのか知らない」「警報が出ていても防災無線で連絡がない」「形だけ整っている」など、運用面を指摘する意見も出されていました。

15 避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備は？

意識はするが準備はしていない！

「災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備はしているか」の問に対して、「している」と答えた方はわずか 3.9%、「ある程度している」と答えた方をたしても 26.4%で、市民の約4人に1人の方しか備えをされていないことになります。



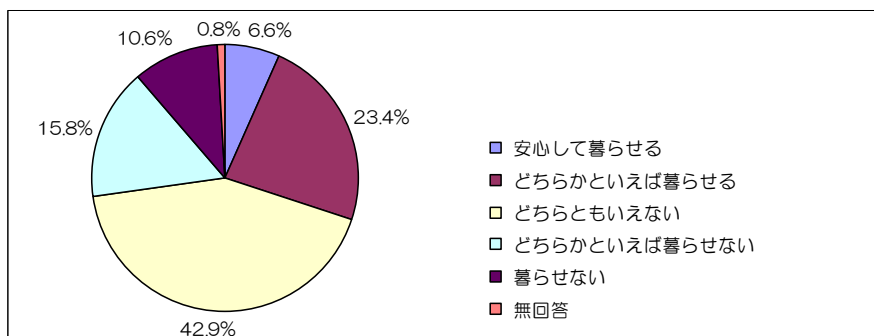
備えをしない理由として、「避難用具の整備後、食品の期限切れやメンテナンスを考えると、二の足をふんでしまう」など、維持管理の難しさを指摘されている一方、「要介護者を介護しているのであきらめている」と避難そのものをあきらめている方もあるようです。

年代別に分析した場合、年代が高くなるに従って「している」（「ある程度している」を含む）と答えた方の割合は多くなり、20 歳代で 15%弱であるのに対し、60 歳代では 40%弱まで倍増している状況です。

16 南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまち？

どちらともいえない!?

「南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまちか」という問では、「安心して暮らせる」または「どちらかといえば安心して暮らせる」と答えた方は 30%に留まり、「どちらともいえない」と答えた方が 42.9%と最も多くなっています。



安心して暮らせる要因としては、消防団の活躍が多く取り上げられています。

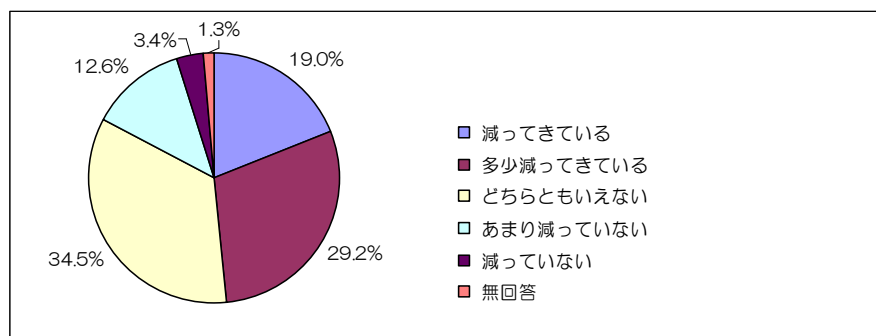
しかし、「市がどのような対策をとっているのか知らない」「避難場所が不適切・安全でない」という意見も多数見受けられることから、回答者の多くが、中間的な意見である「どちらともいえない」を選択されたのではないかと考えられます。

年代別で分析した場合、10歳代から60歳代までは「安心して暮らせる」（「どちらかといえば安心して暮らせる」を含む）と答えた方は30%を下回っているのに対し、70歳以上ではその割合が50%を超えていました。

17 南丹市において、差別が減ってきていると感じるか？

差別は減ってきていると感じている！

「南丹市において、これらの差別が減ってきていると感じるか」という問では、48.2%の方が「減ってきている」または「多少減ってきている」と回答しているのに対して、「減っていない」または「あまり減っていない」と回答された方は16%と少ないことから、差別が減ってきていると感じる方のほうが多いといえます。



しかし、「人権講演会等の参加者も少なく、人権に対する意識が薄れてきているのではないか」「多少は減っていると思うけど、実際はまだまだあると思う」など、人権意識や差別について考えなくなってきているのではないかと指摘する意見もありました。

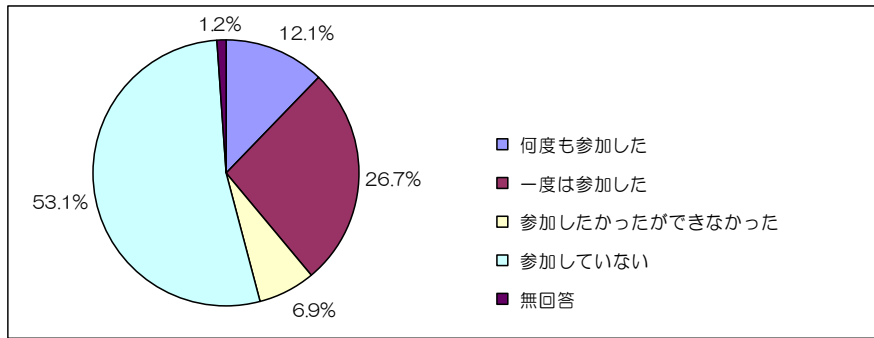
なお、年代別に分析した場合、「減ってきている」（「多少減ってきている」を含む）と答えた割合は、年齢が高くなるにつれて高くなり、30歳代では30%程度であったものが70歳代では70%と倍以上高くなっています。

18 人権問題に関する勉強会等に参加したか？

勉強会等に参加される人は少ない！

「過去1年間に、人権問題に関する勉強会等に参加したか」という問に対して、38.8%の方が「1回以上参加した」と回答しています。

参加したという方の内訳をみると、市が主催する人権研修会に参加したという方はほとんどなく、学校やPTAが主催する人権学習会、区の研修会に参加された方が多くなっています。



しかし、53.1%の人が「参加していない」と回答しており、「参加したかったが参加できなかった」という回答を含めると60%の方、3人に2人が参加していないことになります。

また、何度も参加したと答えた方が12.1%あることから、様々な勉強会等に参加されている方は、いつも同じ方ではないかということが想像できます。

年代別に分析した場合、20歳代、30歳代が25%前後と低いのに対し、40歳代上位の方は40%前後の方が参加されていることになります。

これは、40歳代上位の年代の方が、PTAや区の役員になる割合が多いためではないかと想像できます。

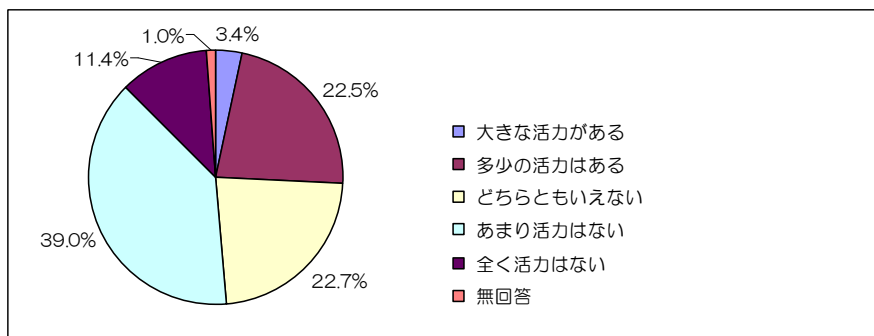
19 住んでいる地域には活力があるか？

あまり活力はない！

「住んでいる地域に活力があるか」という問には、「大きな活力がある」または「多少の活力はある」と答えた方は25.9%と全体の4分の1強であるのに対し、「全く活力はない」または「あまり活力はない」と答えた方は50.4%と全体の半分以上にもなります。

「活力がない」とする理由としては、地域や集落の「高齢化」「過疎化」を理由としてあげる人が多く、次に「住民の意識がなかなか揃わない」「年代によって考え方が異なる」など活動の問題点をあげる方が多くありました。

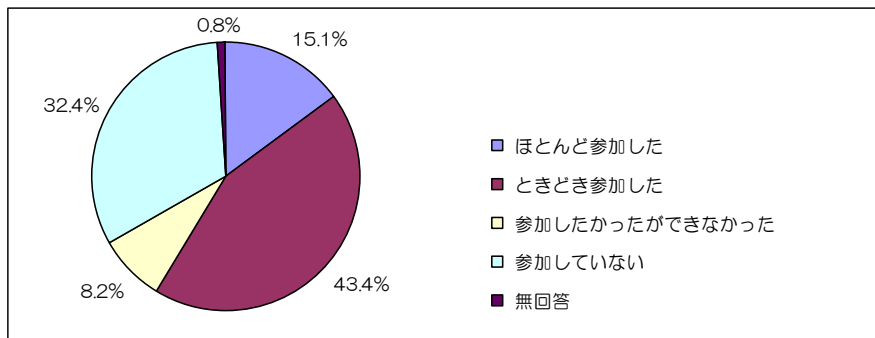
この質問に対しては、年代別で分析しても特に認められることはありませんでした。



20 地域における活動や市民の自主的な活動に参加したか？

地域の活動にはできるだけ参加している！

「過去 1 年間で、地域における様々な活動や、市民における自主的な活動に参加したか」という問に対しては、58.5%の方が「ほとんど参加した」または「ときどき参加した」と回答しています。



また、年代別に分析した場合、40 歳代から 60 歳代方が参加されている割合は圧倒的に多く、70%以上をしめています。

理由から分析すると、参加されている活動の多くは自治会や子供会の活動がほとんどで、40 歳代から 60 歳代の方が各種団体の役職を持っておられることが、その理由ではないかと考えられます。

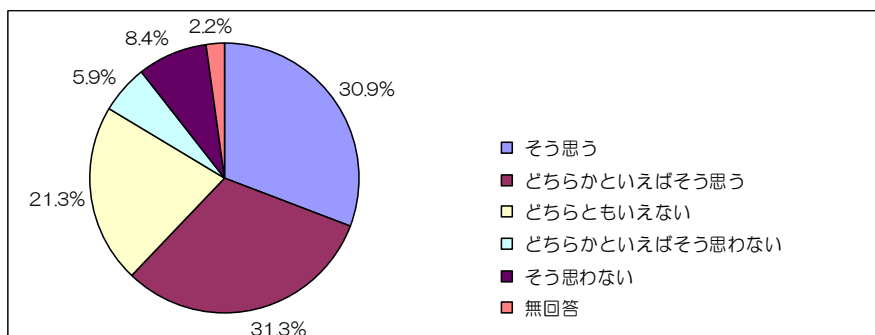
しかし、昨年度の調査では地域の行事に参加した方の割合は 72.4%であったのに対し、今回の調査では 58.5%と 10 ポイント以上も下がっています。

下がった原因がはっきりとしませんが、住民が主体となって地域づくりを進めていこうという施策を行っている中であっては、この動向は注視すべきものです。

21 地域で培われてきた文化などを自分達が引き継ぐのか？

自分達が引き継ぐ！

「地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、自分達が引き継いでいかなければならないと思うか」という問では、62.2%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えています。



しかし、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は、わずか 14.3%で、多くの方が「自分達が引き継がなければならない」と感じていることがわかります。

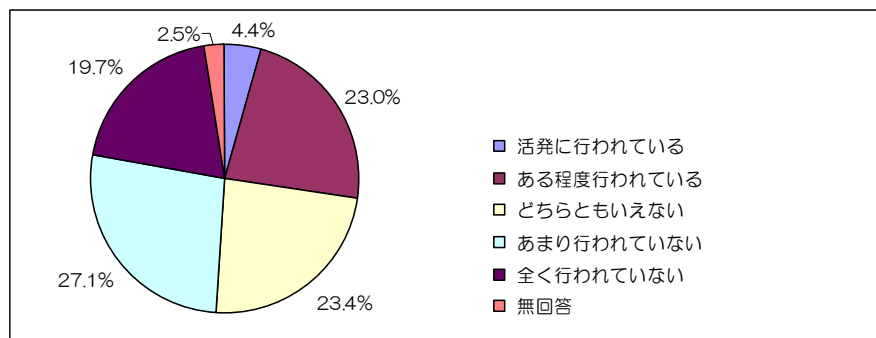
その傾向は、年代が高くなるにつけ増える傾向にあり、18 歳から 19 歳では 50%であったものが、60 歳代では 70%まで 20 ポイントも増加しています。

しかし、「面倒くさい」「引き継ぎたい人が引き継げばよい」という意見があるのも事実であり、今後どのように地域文化を残していくのか考える必要があるのかもしれない。

22 地域と大学などとの交流・連携は活発か？

交流・連携は活発に行われていない!?

「自分の住まれている地域において、大学などと、様々な分野の交流・連携が活発に行われているか」という問では、27.4%の方が「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答されていますが、約半数の 46.8%の方が「活発に行われていない」または「あまり活発に行われていない」と回答されています。

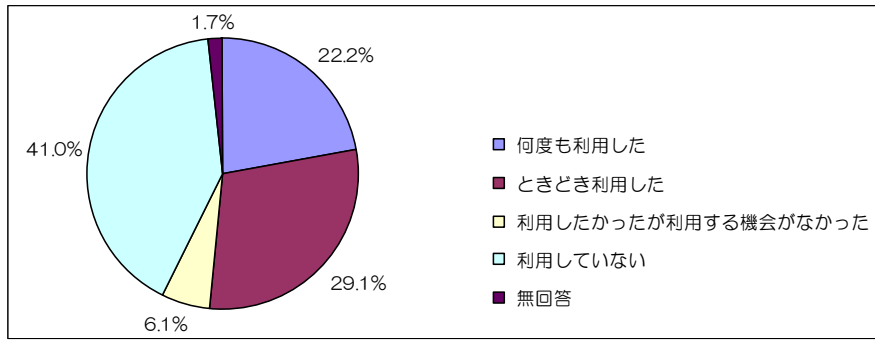


昨年度の調査では、「活発に行われている」（「どちらかといえば行われている」を含む）とする回答の割合とほぼ同数でした。（前回 27.6%）実質、今回の調査では、「どちらともいえない」という中間的な回答を設けたこともあり、「行われていない」または「どちらかといえば、行われていない」とする回答は、前回 64.4%から 46.8%と 15 ポイントも削減していることから、どちらかといえば、「活発に行われている」（「どちらかといえば行われている」を含む）という意見が増えていると判断できます。

23 過去 1 年間に、公共施設を利用されたことはあるか？

半数以上の方が利用している！

「過去 1 年間に、市の公共施設（公民館や体育館など）を利用したことがあるか」という問に対して、51.3%の方が利用したと答えています。しかし、一方で 41.0%の方が利用していないと回答しています。



過去 1 年間で、最も多くの方に利用いただいた施設は図書館のようで、回答をいただいた方の半数近くの方が利用したと答えています。

また、主に公民館や体育館などを指しての話だと思われそうですが、利用されていない理由として「利用の方法を知らない」という回答が多くありました。

年代的に分析してみると、30 歳代や 40 歳代、60 歳代の方が、比較的利用されている割合が高いといえます。

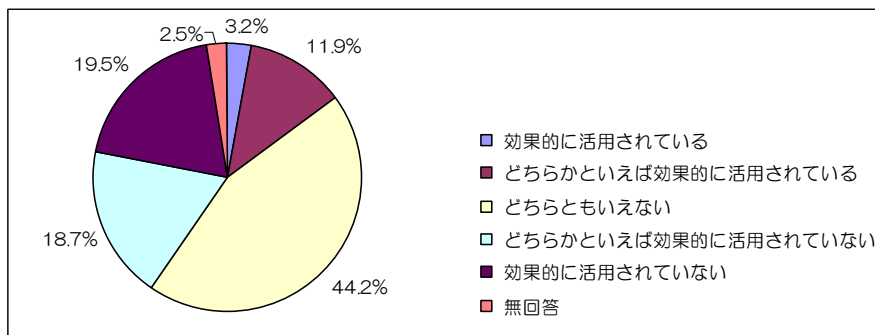
30 歳代、40 歳代については、子供と一緒に図書館や体育施設などを利用されているのではないかと推測できます。また、60 歳代については、独自に参加されるサークル活動やイベント、教室などで使われるのではないかと考えられます。

24 税金がまちづくりに効果的に活用されているか？

税金の使い方が説明されていない!?

「市民の税金がまちづくりに効果的に活用されているか」という問では、「効果的に活用されている」と答えた方は 3.2%で、「どちらかといえば効果的に使われている」を含めても 15.1%しかありませんでした。

反対に、「効果的に活用されていない」と答えた方は 19.5%で、「どちらかといえば効果的に活用されていない」をあわせると 38.2%と約 3 分の 1 にあたります。



「効果的に活用されていない」（「どちらかといえば効果的に活用されていない」を含む）とされる理由として、「市の職員の給与と福祉ぐらいにしか使われていない」「もっと真剣に市民の声を聞いて税金の使い方を考えて欲しい」「まちづくりにまで手がまわっていない」「公共工事の優先順位に納得ができない」「財源が乏しい割に、歳出削減が図れていない」などの意見がありました。

また、「どちらともいえない」とする回答が 44.2%あることも特徴的です。

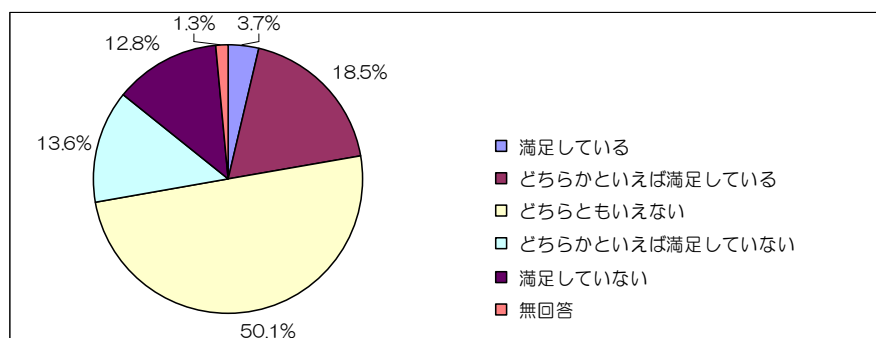
「どちらともいえない」とした意見を見ると、「何に活用されているか、具体的にわからない」「税金の行方を知らない」「広報でみるくらいでよくわからない」などの意見が多いことから、『税金の使い道に関心がない』という意味で「どちらともいえない」が選ばれているのではなく、『情報が少ないので判断できない』という意味だということがわかります。

25-1 南丹市が行っている行政サービスに満足しているか？ 判断できない!?

「総合的にみて、南丹市が行っている行政サービスに満足しているか」という問では、22.2%の方が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えています。

また、「満足していない」または「どちらかといえば満足していない」と回答された方は 26.4%となっており、「満足している」（「どちらかといえば満足している」を含む）よりも、若干回答者の割合は高いものの、大きな差はありません。

年代別に分析した場合、「満足している」（「どちらかといえば満足している」を含む）割合は 20 歳代が 10%以下と最も低く、年代が高くなるにつれて割合が高くなり、70 歳以上では 40%を超えています。



ただし、「どちらともいえない」と回答している方の割合が圧倒的に高く、全体の 50.1%になっています。

回答の理由をみると「上下水道はよくやったと思っている」や「CATV と図書館は満足」という満足とする意見がある反面、「病院が遠いので困る」「園部の都市計画などは不満足」など満足していないという面もあり、「どちらともいえない」を選択されている状況ではないかと考えられます。

なお、「どちらともいえない」を選択された方には「情報が少ないのでわからない」とする意見も結構あることから、問 24 と同様に判断できないという方もおられるということがわかります。

25-2 行っている行政サービスに満足できない理由は？

サービスに地域格差があると感じている!?

問 25 で、「4. どちらかといえば満足していない」または「5. 満足していない」を選んだ方にと
のような点が不満かを聞きました。

最も多かった意見は、「市域全体からみたとき、サービスに地域格差があるため」でした。

主な意見は下記のとおりです。

不 満 の 理 由	回答件数
市全体からみれば、サービスに地域差があるため	13 件
市（職員）の対応が悪い（職員の自覚が足りない）ため	10 件
どんなサービスがあるのか説明が少ない（解からない）ため	9 件
行政のスリム化（効率化）が図れていないため（職員数が多い）	9 件
交通の便が悪いため	6 件

「市民からの意見」

「困っていること」「心配していること」は？

通学や買い物が不便！

「日常生活の中で、今困っていることや、心配していることはないか」という質問に対して、269件のご意見がありました。

公共交通機関に関する意見が全体の23%を締め最も多く、その中でも、地域公共交通機関に関するものが43件ありました。

「困っていること」「心配していること」として意見が多かった項目は次のとおりです。

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1位：地域公共交通機関が不便なことについて | 43件 |
| 「通学のため駅に向かうのが不便で困っている。」 | |
| 「買い物にタクシーを利用しないといけないので困っている。」 | など |
| 2位：地元雇用対策、雇用促進が少ないことについて | 22件 |
| 「市内では働く場所が少なく困っている。」 | |
| 「就労のため、若者が市外へ出て行き活気がなくなるのが心配。」 | など |
| 3位：商店街が寂れていることについて | 18件 |
| 「買い物をする場所がない。」 | |
| 「外食をする場所がない。」 | など |
| 4位：医療機関の維持、体制の維持について | 17件 |
| 5位：JRの運行本数が少ないことについて | 13件 |

それ以外には、過疎化に伴う地域活動の衰退、道路の安全対策（標識の整備・草木の伐採）、空家対策、鳥獣による農作物への被害など多くのご意見をいただきました。

南丹市のまちづくりに対する提案・意見は？

施策や事業についてもっと説明を！

南丹市のまちづくりに対して、提案やご意見をお聞きしたところ、163件のご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

- 市が行う施策や事業に対する説明不足に関する事
- 市内における道路網の整備・充実に関する事
- 適正な財政運営・効率的な事業実施に関する事
- 自然や環境の保全に関する事
- 南丹市としての新たな取り組みの推進に関する事
- 広聴の充実に関する事
- まちづくりや地域活性化、若者定住に向けた取り組みに関する事
- 中学校給食の実施に関する事
- 市職員の資質向上に関する事
- 駅周辺の整備、発展に関する事

